



新生児聴覚スクリーニング検査 申込書 兼 同意書



赤ちゃんは、周囲から語りかける言葉や色々な音を聞いて育っていきます。しかし、1000人に1～2人の赤ちゃんに生まれつきの聞こえにくさ（難聴）があるとされています。新生児聴覚スクリーニング（新スク）検査は、赤ちゃんの難聴をいち早く発見し、早期に適切な援助や療育を開始するための大切な検査です。詳しくは「新生児聴覚スクリーニング検査について」のリーフレットや、静岡県乳幼児聴覚支援センターHP上で動画も紹介していますのでご覧ください。

静岡県乳幼児聴覚支援センターとは

新スク検査で「要再検査（リファー）」となり不安を感じる保護者や、難聴が確定した児の保護者への相談事業などを行っています。保護者と子への切れ目ない支援のために、検査をした医療機関と市町保健センター、乳幼児聴覚支援センターとの情報共有が欠かせません。

新スク検査結果は、同センターが運用する「新スク管理支援システム」に個人が特定できない情報として登録され、「リファー」の場合、乳幼児聴覚支援センターよりSMSを用いて、精密検査や聴覚・言語発達に関する情報提供など、相談支援についてのご案内をします。

【保護者記入欄】 ※ [] 内の、いずれかに○をつけてください。

●私は新生児聴覚スクリーニング検査について、理解しました。 【はい・いいえ】

●私の子どもが新生児聴覚スクリーニング検査を受けることを希望します。 【はい・いいえ】

●新生児スクリーニング検査実施後の流れ

*パスの場合

- ・ヒアリングID（識別番号としての11桁の数字）、お住いの市町名、生年月日、検査実施医療機関名
検査結果がシステムに登録されます。氏名、性別は登録されません。

*リファーの場合

- ・精密聴力検査機関で難聴の有無の確認のため、産科で聴力検査機関の受診予約の上、紹介状を持って検査を受けましょう。
この際、登録システムには、性別と紹介先の精密聴力検査機関名が追加で登録されます。

●検査実施後の流れを理解し、検査結果のシステムへの登録について了解します。 【はい・いいえ】

※個人情報に関する取扱いについては、規定に従い十分に配慮致します。

申込年月日	年 月 日
保護者氏名	
保護者住所	携帯電話番号 ()

